

「北九州市地球温暖化対策実行計画・環境モデル都市行動計画」 の策定について

1 趣旨

本市は、環境モデル都市行動計画を平成21(2009)年3月に策定し、「低炭素社会」の実現に向け、市民、企業、行政等が連携して取組みを進めてきた。

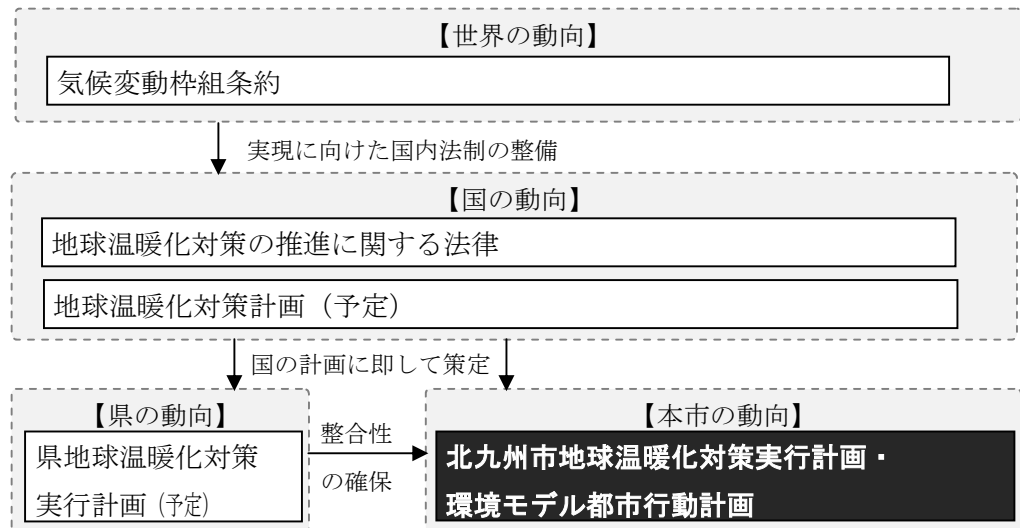
一方、国は、本年7月17日に開催した第30回地球温暖化対策推進本部会合において「日本の約束草案」を決定した。今後、年末に予定されているCOP21(パリ)で国際的に承認された後、その実現に向けて、新たな地球温暖化対策計画を策定することが見込まれている。

このような動きを踏まえ、本市においても、国の地球温暖化対策計画にも歩調を合わせた「地球温暖化対策実行計画・環境モデル都市行動計画」を策定する。

2 計画の概要

(1) 位置づけ

- 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3に基づく計画に位置づけ
- 国の地球温暖化対策計画(予定)及び環境モデル都市行動計画との整合
- 北九州市環境基本条例に基づく北九州市環境基本計画の部門別計画
- 北九州市環境未来都市計画の環境部門の計画



(2) 期間

【案1】平成26(2014)年度～平成30(2018)年度(5年間)

※平成26年度に改訂した環境モデル都市行動計画で定めた当初の期限と合わせた場合

【案2】平成26(2014)年度～平成32(2020)年度(7年間)

※新たな計画として、計画期間が5年間となるよう、改めて期限を設定した場合

(3) 取組の方向性

①環境が先進の街を創る

北九州市の高度な素材技術、工場とまちの近接性などの都市構造の特性を活かし、低炭素で豊かな生活ができるストック型都市づくりを推進する。

②環境が経済を拓く

低炭素社会が求める技術開発、製品製造、サービス提供を行い、低炭素社会に求められる環境付加価値の高い産業構造へ変革を図る。

③環境が人を育む

ESD(持続可能な開発のための教育)を軸としながら、北九州市でこれまで整備してきたさまざまな環境学習施設を低炭素社会の観点から体系化し、あらゆる世代が実践的に学べる総合学習システムを構築する。

④環境が豊かな生活を支える

北九州市民の高い意識・意欲を、望まれる社会変革につないでいくため、低炭素社会推進に関わる全市民的運動を持続的に展開する。

⑤環境がアジアの絆を深める

北九州市で育まれる低炭素社会づくりの取組を総合的に海外移転し、アジアを中心とした低炭素社会の実現と豊かな社会発展に貢献する。

(4) 現状

①北九州市環境モデル都市行動計画(2009年3月策定)

○削減目標(2005年度比)

長期目標(2050年度) 市域 830万トﾝ(▲50%) 海外 2340万トﾝ(▲150%)
中期目標(2030年度) 市域 530万トﾝ(▲30%) 海外 1170万トﾝ(▲75%)
2014~2018年度の目標 市域 100万トﾝ(▲6%) 海外 100万トﾝ(▲6%)

<参考>国の約束草案における削減目標

2030年度 3億6,600万トﾝ(▲26%) (2013年度比)
3億5,500万トﾝ(▲25.4%) (2005年度比)

○過去の削減実績(取組を実施したことによる温室効果ガス削減量)

年 度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
削減量(万トﾝ)	4.7	7.1	8.4	11.0
[]は累計値		[11.8]	[20.2]	[31.2]

②温室効果ガス排出量

北九州市の温室効果ガス排出量（部門別）

単位：千トン-CO₂

区 分		1990年度 (平成2)	2005年度 (平成17)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)	前年度比	1990年度比 (平成2)
二 酸 化 炭 素	家庭（暮らし）部門	943	1,039	906	1,062	17.2%	12.6%
	業 務 部 門	669	1,186	1,364	1,690	23.9%	152.6%
	運 輸 部 門	1,419	1,751	1,651	1,673	1.4%	17.9%
	産 業 部 門	9,808	10,717	11,665	12,257	5.1%	25.0%
	エネルギー転換部門	347	246	336	379	12.8%	9.2%
	工 業 プ ロ セ ス	1,757	695	1,019	1,097	7.7%	-37.5%
	廃 棄 物	252	542	364	389	6.8%	54.3%
二 酸 化 炭 素 合 計		15,195	16,176	17,305	18,546	7.2%	22.1%
メ タ ン		23	21	17	23	33.4%	0.0%
一 酸 化 二 窒 素		44	53	40	53	31.4%	20.7%
フ ロ ン ガ ス 等		598	98	121	132	8.8%	-78.0%
温 室 効 果 ガ ス 合 計		15,860	16,348	17,484	18,754	7.3%	18.2%

注：端数処理を行っているため、合計値が一致しない場合がある。

<参考>電力のCO₂排出原単位の変化

(kg/kWh)

	1990年度 (平成2)	2005年度 (平成17)	2010年度 (平成22)	2011年度 (平成23)
CO ₂ 排出原単位	0.436	0.375	0.385	0.525

環境省ホームページ (<https://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15912>) より

4. 見直しの進め方

- 北九州市環境審議会に諮問し、計画（案）を答申いただく。
- 審議内容を適宜議会に報告し、ご意見をいただく。

5. スケジュール（案）

平成27年8月～

北九州市環境審議会（諮問）

環境審議会にて議論

市民意見募集（パブリックコメント）

北九州市環境審議会（答申）

平成28年度当初（見込）

国の計画公表

なるべく近い時期に本市計画を公表